

人材不足への対応策は

実習生受け入れ前向きに

問 水産業をはじめとして、復興へ向けて人材不足が大きな課題である。

海外からの研修生受け入れなど、国・県から柔軟な施策が示されているが、現状と今後の施策は。

佐藤町長 被災地における労働力不足は顕著化しており、外国人技能実習制度を活用した受け入れ人数も増えている。県と同様に前向きに実習生の受け入れを支援していく。

問 その制度を否定するものではないが、なぜ町民の中に働きたい人が少ないのか。福利厚生をは



労働力不足が顕著になっています

じめとした支援施策の展開をしてはどうか。

甲斐谷水産商工課長 加工業者も賃金を上げて募

集しているが、応募がないようだ。現状では労働者確保の一番早い方法は

外国人実習生だと思う。

問 単純に賃金を上げれば、ではなく、産業の継続を目指した施策としての質問だ。まずやってみ

ようという姿勢が必要だ。

町長 非常に難しい問題であり、中長期的な視点に立って解決していかなければならない。

NPO問題

町の今後の対応は

法令順守の徹底を図る

民事・刑事の裁判を通じて問題を整理し、真相を明らかにしていく。町

政の秩序を正すとともに職員に法令順守の徹底を図る。

ICT利活用への取り組みは

全町インフラ整備実施へ

問 情報発信収集システムの実現に向けた具体的な取り組み内容は。

豊間根総務課長 双方向の情報共有について検討

している。
インフラ整備は計画上1年間をめどに全世帯対象で実施したい。

その他の質問

- ◆ ふるさと応援寄附への具体的取り組みは
- ◆ 荒川・豊間根地区の基盤整備事業の進行状況は

- ◆ 沿岸市町村連携で観光振興を
- ◆ 被災者への生活再建支援の現状は
- ◆ 国・県道につながる町道の整備を



豊間根信議員

(政和会)